

畠山即翁と興衆愛玩

株式会社荏原製作所の創業者・畠山一清（一八八一～一九七二）のコレクションを公開するために一九六四年に畠山記念館として開館。二〇一九年より改築工事のため長期休館中でしたが、開館六〇周年を迎えた二〇二四年十月に開館の運びとなり、正式名称は新たに「荏原 畠山美術館」としました。これまでの活動をさらに充実させ、より多くの方に楽しんでいただける美術館を目指してまいります。

荏原 畠山美術館

畠山一清は、実業家でありながら、「即翁」と号して、能楽や茶の湯をたしなむ数寄者でもあり、茶道具を中心に、五十年をかけて美術品の蒐集に励みました。即翁の愛蔵印に刻まれている「興衆愛玩」という言葉には、「自らのコレクションを独占するのではなく、多くの人と共に楽しもう」という思いが込められています。当館は即翁のこの精神を受け継ぎ美術館活動を進めています。

開館時間 | 春季展・夏季展＝午前10時～午後5時（入館は4時半まで）
秋季展・冬季展＝午前10時～午後4時半（入館は4時まで）

休館日 | 月曜日（祝・休日にあたるときは開館し、翌火曜日休館）
展示替期間・年末年始（展覧会カレンダーをご覧ください）

入館料 | オンライン日時指定券：一般1,300円／学生900円
※当日券（一般1,500円／学生1,000円）も販売しております。（オンラインにてご購入の方を優先してご案内いたします。当日券の方は少々お待ちいただくことがあります。）※障がい者手帳提示者とその介護者各1名は無料。中学生以下は無料（保護者の同伴が必要）

茶室公開 | 苑内にある5つの茶室はいずれも港区指定文化財です。通常は非公開の茶室の一部を特別に公開し、呈茶とあわせて学芸員が茶室の見どころを紹介いたします。詳細はHPにて。*2026年は5月に実施

友の会 | 年度会員制。ただし途中入会も可。
講座や茶会の開催など、当館ならではのさまざまな特典を用意しております。皆様のご入会を心よりお待ちしております。会費10,000円（2026年現在）



[アクセス]

- 都営浅草線「高輪台」駅下車A2出口左手交番を左折徒歩5分
- 東京メトロ南北線・都営三田線「白金台」駅下車

1番出口右手コンビニを右折徒歩10分

※一般来館者専用の駐車(輪)場はございません。公共交通機関をご利用ください。なお車いす用駐車場(1台)は、事前に予約された方の専用駐車場です。予約方法は当館のウェブサイトでご確認ください。



公益財団法人 荏原 畠山記念文化財団
〒108-0071 東京都港区白金台2-20-12

お問合せ：050-5541-8600 [ハローダイヤル]
<https://www.hatakeyama-museum.org/>

E B A R A

展覧会のご案内

HATAKEYAMA

MUSEUM

OF ART

2026.4 → 2027.3

春季展 | 2026.4.11^⑤ ▶ 6.14^⑩

本館 王朝のみやび—古筆、琳派 茶の湯の情景—

創設者・畠山即翁のコレクションより、流麗な古筆や精緻な蒔絵など、「みやび」の極致を伝える王朝の名品を厳選して公開します。

新館 守屋多々志の華麗な歴史画

—よみがえる王朝と文明開化の夢—

東日本で30年ぶりとなる日本画家・守屋多々志の回顧展を開催します。映画「羅生門」の衣装デザインも手掛けた守屋氏が、「王朝文化」と「東西交流」をテーマに描いた未公開作と資料を含む約100点を展示します。



八橋圓 團扇 尾形光琳筆 江戸時代



ウィーンに六段の調 (ブラムスと戸田伯爵権子夫人) 守屋多々志 1992年 大垣市蔵

4 APRIL 2026							5 MAY							6 JUNE						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	.	.	1	2	3	4	1	2	.	1	2	3	4	5	6	
5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20
19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27
26	27	28	29	30	.	.	24/31	25	26	27	28	29	30	28	29	30

夏季展 | I—7.4^⑤ ▶ 8.2^⑩ | II—8.28^⑤ ▶ 9.27^⑩

本館 茶道具と銘をめぐる物語

「銘」をテーマに、茶道具に込められた物語を紐解く展覧会。涼を感じる作品とあわせてお楽しみください。I期とII期で一部展示替えあり。

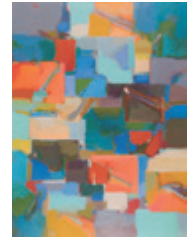
新館 夏季展 I | 抽象・美への招待—静謐なる山田正亮

夏季展 II | 追悼1年—上田薫のスーパーリアリズム

I期: 絵画の平面性を追求し、作者の感情を排したストライプや格子模様、色面そのものに到達した表現をご覧ください。

II期: 写真をキャンバスに投影し、生たまごやアイスクリームといった日常の瞬間を、実物以上に克明に描きだした作品群を展示します。

蕎麦茶碗 銘 堂 朝鮮時代



夏 I | Work E351 山田正亮 1995年 個人蔵



夏 II | なま玉子 F 上田薫 1987年 個人蔵

7 JULY							8 AUGUST							9 SEPTEMBER						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	.	.	1	2	3	4	1	.	.	1	2	3	4	5	
5	6	7	8	9	10	11	2	3	4	5	6	7	8	6	7	8	9	10	11	12
12	13	14	15	16	17	18	9	10	11	12	13	14	15	13	14	15	16	17	18	19
19	20	21	22	23	24	25	16	17	18	19	20	21	22	20	21	22	23	24	25	26
26	27	28	29	30	31	.	23/30	24/31	25	26	27	28	29	27	28	29	30	.	.	.

秋季展 | 10.17^⑤ ▶ 12.13^⑩

本館 異国へのあこがれ

—唐物、島物、古渡り

最高峰の唐物や島物、古渡りの名品が集結。かつての人々が異国の美に捧げた情熱と審美眼にふれる貴重な機会です。時代を超えてなお、私たちの心を捉

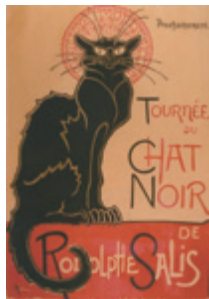


えて離さない「異国へのあこがれ」の物語を、秋深まる荏原 畠山美術館でぜひご堪能ください。

阿蘭陀色絵給葉業水指 17世紀

新館 猫の画家スタンラン

—ジャポニスムとアール・ヌーヴォーの美術(仮)



西洋で長らく異端とされた猫は、浮世絵など日本の影響を受けてモダン・アートの重要なモチーフへと変化しました。本展では「黒猫」を描いたスタンランを中心に、西洋の版画やポスター、日本の浮世絵など約100点を展示します。猫をテーマに、近代美術発展の歩みを辿る展覧会です。

ジャンワールの巡業 テオフィル・アレクサンデル・スタンラン 1896年 リボリアンティークス蔵

10 OCTOBER							11 NOVEMBER							12 DECEMBER						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	.	.	1	2	3	.	1	2	3	4	5	6	7	.	.	1	2	3	4	5
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
25	26	27	28	29	30	31	29	30	27	28	29	30	31	.	.

冬季展 | 2027.1.16^⑤ ▶ 3.22^⑩

本館 初春を祝う(仮)

唐子や七福神が生き生きと表現された絵画や器など、新春にふさわしいおめでたい作品が集まります。



唐子遊園 住吉貞真 江戸時代

新館 安井賞受賞者回顧展 I 遠藤彰子の世界(仮)

本展では、複数の視点で描かれた建物や群衆、昭和のノスタルジーを感じさせる作品から、時空を超えた叙事詩的な大作まで、その壮大な世界観を幅広く紹介します。



迷宮の街 遠藤彰子 1983年 相模原市蔵

1 JANUARY 2027							2 FEBRUARY							3 MARCH						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
.	1	2	.	1	2	3	4	5	6	.	1	2	3	4	5	6
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	21	22	23	24	25	26	27
24/31	25	26	27	28	29	30	28	28	29	30	31	.	.	.

色の数字の日は休館日です

● 展覧会関連イベント | 展覧会の内容に合わせて、随時、開催されます。日時、詳細は、展覧会チラシやHPなどをご覧ください。

● 講演会: 研究者等をお招きし、お話をうかがいます。(要入館料) ● ミニトーク: 当館学芸員が展示室で、解説します。(要入館料)

● 鑑賞会: 当館館長・学芸員が、展覧会の見どころや注目ポイントを分かりやすく紹介します。(要入館料)